

## 2. 地球環境問題と先進国の役割ならびに途上国の開発について論じなさい。

地球環境問題とは、環境問題の中でも特に問題の発生源や被害が広範囲な地球規模のものである。

通常、環境問題とは、局地的な公害のように国や一地域内で発生し、その中で結実するものである。

これに対し、地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨などのような発生源や被害地が必ずしも一定地域内に限定できないものがある。これらの問題を解決するには、一国一地域では対処できないゆえに、地域全体として、人類共同体として一体になって取り組まねばならない事柄でもある。しかも、後戻りできないものであり、一刻も早く対処しなければ、人類の滅亡にも導くものである。

主要な地域環境問題には次のものがある。

### 1、大気汚染、酸性雨

これは産業革命以来、競争社会の中でまっしぐらに工業化を進め、エネルギーの獲得の結果、排気ガス、それに伴う酸性雨が拡大したものである。

### 2、水質汚染、土壌汚染

工業化の進歩とともに巨大産業から排出される工業排水が自然の浄化能力を超えてしまった結果であり、また人口増加、都市化により生活排水などによるものである。

### 3、オゾン層破壊

生産性の向上と利便性を追求した

結果、それに伴う環境影響がわからず使用し続けてきたが、地球環境の調査が進むに従い、その原因因果解明されてきた。フロンガス等の排出により地球を被って紫外線を出版しているオゾン層が破壊されることである。

### 4、地球温暖化、海面上昇、凍土融解

産業革命以来、化石燃料からエネルギーを獲得する方法に頼ってきた結果、CO<sub>2</sub>の排出量が増大し、その影響によるものである。

### 地球環境問題を解決するための諸問題

これらの問題は広範囲で地球規模であるため、因果関係や有効な対策が未定のものもあり、利害関係があり、人口増加や経済発展の関係などがあり、誰が責任を持って対処すべきなのかが明確でない。しかも、今すぐにでも対処しなければならない問題でもある。各国が地球人として一体感になって取り組まねばならない問題である。そのため国連気候変動枠組み条約により締結国会議(COP)が行われているが、各国の経済発展条件より合意しない状況が続いている。

### 先進国の役割

先進国としては、経済的に発展してきたのは環境問題を気にすることなくやってきたか

らであり、その責任を持って、環境に負荷を与えない技術を開発し、環境負荷削減にさらなる努力が必要である。また、途上国に対してこれらの技術を持って支援し環境負荷を低減することに努める必要がある。

#### 途上国の役割

先進国が歩んだ道と同じように発展の道をたどるのか、それとも先進国が学んだ負の遺産を土台とし、将来の発展を目指すのか考えるべきである。環境影響が既にわかっている問題については最新の技術を用いて発展していくべきであり、先進国の支援を要請してさらなる発展を目指すべきである。

#### 環境影響を考慮した持続可能な発展

産業革命以来、石炭、石油などの地球上有限なエネルギー源を使用してきた。このようなエネルギーは、いつかは枯渇し環境にも負の影響を与える。将来にわたる地球全体の発展を考えると、持続可能性のあるエネルギー源を確保しなければならない。

もともとのエネルギーは太陽であるため、太陽光の利用、風力、水力等の自然エネルギーの効率的な利用が地球環境問題の解決に近いものであろうと考える。 (A)